

私の学習法（数学）

仙台 直哉

1. 基本を理解する！

教科書に書いてある公式や、考え方を理解する。例えば、一年生で習う「移行」において、ただ単に「＝」をまたいだら符号が変わるという覚え方だけではなく、なんで符号が変わるかを理解します。そういった基本を理解することの積み重ねが、応用問題を解くことにつながります。

2. 運動をする！

基本を理解するために、考えたり、何度も問題を解いたりしていると頭が疲れた状態になります。運動することは一見、学習法に関係ないように見えますが、これは、脳を休めることにつながります。特にテスト期間中というのは、ご飯を食べているときでさえ、テストのことや提出するワークのことを考えてしまっていたので、運動をすることで脳をリフレッシュさせていました。

3. 答えを簡単に見ない。

私自身、数学のおもしろさは、難しい問題を解けた時の達成感でした。だからこそ難しい問題が出た時ほどやる気ができました。そこで分からないからといって簡単に答えを見るのはもったいない。私も見たことがない問題や解けない数学の問題は山ほどあります。しかし、自分の知っている知識や考え方を色々ためしてみることで答えにつながり、解けた時に喜びを感じるのです。

4. 同じ失敗の繰り返しをしない。

私が高校1年生のとき、テストの順位は毎回250人中、150番くらいでした。個評が返される度に、次は頑張ろうと思うのですが、その意欲は1週間ももちませんでした。しかし、2年生の秋にふと思ったのです。「同じ失敗ばかりして、ずっと順位は下の方。自分の能力はどれくらいあるのだろう、今回だけ本気でテスト勉強する。」そしてみんなより1ヶ月早く、テスト勉強を始め予習も復習も毎日やりました。自分に「一ヶ月だけならやれる」と言い聞かせました。そして、そのテストで初めて16番という順位をとれたのです。その時の頑張りが今の仕事につながっています。